

平田透教授 略歴と主な研究業績一覧

著者	金沢大学経済学経営学系
著者別名	Faculty of Economics and Management, Kanazawa University
雑誌名	金沢大学経済論集 = Kanazawa University economic review
巻	37
号	2
ページ	129-132
発行年	2017-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2297/47950

平田 透教授 略歴と主な研究業績一覧

略 歴

- 1952年(昭和27年) 山形県生まれ
北陸先端科学技術大学院大学 博士課程修了
北陸先端科学技術大学院大学博士(知識科学)
- 昭和46年4月1日 北海道大学理類入学
昭和50年3月31日 北海道大学工学部電気工学科卒業
昭和50年4月1日 北海道大学経済学部経済学科学士入学
昭和52年3月31日 北海道大学経済学部経済学科卒業
昭和52年4月1日 (社)法人食品需給研究センター研究員
昭和56年4月1日 (助)外食産業総合調査研究センター研究員
昭和60年2月1日 (株)流通政策研究所研究員, 主任研究員
昭和63年7月16日 (株)東急総合研究所マーケティング調査部主任研究員
平成2年4月1日 富山女子短期大学(現 富山短期大学)専任講師, 助教授
(この間, 社会人大学院生として平成5年4月1日より北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科在籍, 平成15年3月31日修了)
平成15年4月1日 新潟国際情報大学情報文化学部助教授
平成18年4月1日 金沢大学経済学部教授
平成20年4月1日 金沢大学人間社会研究域経済学経営学系教授
平成29年3月31日 金沢大学定年退職

[I. 著 書]

- 『実践ソーシャルイノベーション』(共著, 2014年6月, (株)千倉書房)
- 『レジリエント・マネジメント』(共編著(編者), 2014年5月, (株)ナカニシヤ出版)
- 『経営は哲学なり』(共著, 2012年2月, (株)ナカニシヤ出版)
- 『流れを経営するー持続的イノベーション企業の動態理論』(共著, 2010年6月, (株)東洋経済新報社)
- 『組織は人なり』(共著, 2009年10月, (株)ナカニシヤ出版)
- Managing Flow A Process Theory of the Knowledge-based Firm (共著, 2008年5月, Palgrave Macmillan)
- 『知識創造経営とイノベーション』(共著, 2006年4月, (株)丸善)
- 『知的財産マネジメント』(共著, 2004年7月, (株)中央経済社)
- 『価値創造システムとしての企業』(共著, 2003年3月, (株)学文社)
- 『イノベーションとベンチャー企業』(共著, 2002年2月, 八千代出版(株))
- 『知識経営実践論』(共著, 2001年11月, (株)白桃書房)
- 『ハイテク・マーケティング』(共著, 1990年3月, (株)誠文堂新光社)

[II. 学術論文]

- 「ナレッジ・マネジメント視点による防災・減災のための災害体験継承に関する考察」(単著, 2016年11月, 第7回横断型基幹科学技術研究団体連合コンファレンス投稿論文)
- 「人間主義の復権」(共著, 2010年7月, 経営哲学学会『経営哲学』第7巻1号)
- 「賢慮のマネジメント-電力会社におけるリーダーシップ論構築へ向けて」(共著, 2009年6月, 財団法人電力中央研究所社会経済研究所『社会経済研究』No57)
- 「流れを経営するー知識ベース企業のプロセス理論序説」(共著, 2007年12月, 東洋経済新報社『一橋ビジネスレビュー』Vol55- 3)

「企業の知的財産戦略と組織機能に関する研究」(単著, 2003年2月, 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士論文)

「日本企業の知的財産戦略と組織機能の変遷」(単著, 2001年3月, 富山短期大学紀要36号)

「ITの発展による流通構造変化の方向」(単著, 1999年3月, 富山女子短期大学紀要34号)

「企業の情報化と大学における情報教育」(共著, 1998年3月, 富山女子短期大学紀要33号)

「企業変革と短大における情報教育の方向性」(共著, 1997年3月, 富山女子短期大学紀要32号)

「有機農産物の流通システムに関する考察」(単著, 1993年3月, 富山女子短期大学紀要28号)

「流通分野の情報ネットワーク化に関する考察」(単著, 1993年3月, オフィス・オートメーション学会論文誌『情報系』4号)

「流通機構の現状と有機農産物流通の課題」(単著, 1992年3月, 富山女子短期大学紀要, 27号)

「情報ネットワークと地域卸売業の対応」(単著, 1989年3月, (財)流通経済研究所『流通情報』246号)

[Ⅲ. 講演・学会発表等]

ソーシャルイノベーション～社会的価値創造の方向性を探る～(単独, 2016年12月, 日本情報経営学会関西支部例会)

「知識創造理論の系譜」(単独, 2016年9月, 日本経営情報学会関西支部例会)

「災害における経験知と情報の継承に関する考察」(単独, 2016年5月, 第72回日本情報経営学会全国大会)

「経験知の継承～災害体験と組織的対応～」(単独, 2016年3月, 北陸の経営と情報を考える会)

異質な知の重要性～知識経営視点から見る知の相乗効果～(単独発表,

2015年8月, 異文化経営学会北陸支部設立総会)

「日本企業における知的財産部門の組織と機能」(共同発表, (代表者), 2001年10月, 日本経営情報学会2001秋季全国研究発表大会)

Changing Roles of Intellectual Property Division in Japanese Firms (共同発表, (代表者), 2001年7月, Portland International Conference on Management of Engineering and Technology 2001)

「知的財産の戦略資源化と組織的対応」(共同発表(代表者), 2000年10月, 研究技術計画学会第15回年次学術大会)

[IV. その他]

「暗黙知」(単著, 2011年6月, 『一橋ビジネスレビュー』Vol.591号)